

道小だより

第546号

2021年7月

藤井寺市立道明寺小学校

研修部

夏休みに読書の時間を・・・

道明寺小学校では毎週木曜日の朝、読書の時間を設けています。子どもたちは、自分で本を選び、静かに読んで過ごしています。とても集中していて、静かな時間が流れています。また昨年度に引き続き、図書館加配や学校司書による読み聞かせも行っています。本の紹介、ボランティアの方々によるお話会・ブックトーク(2年～6年)も予定しています。図書室でも楽しそうに本を読んでいる様子が見られ、読書に親しんでいる児童が増えてきています。

今年は、例年通り40日ほどの夏休みもあります。お家で過ごすゆったりとした時間に、少しでも読書を楽しんでもらえたらと思います。また、お家の人と一緒に家庭読書もできたらいいですね。

「読み聞かせ」のすすめ

さて、家庭読書の方法ですが、次の5つがあります。

- ①お家の方が、子どもに読んで聞かせる。
- ②子どもが、お家の人に読んで聞かせる。
- ③お家の人と子どもが、交互に本を読み合う。
- ④同じ場所で、それぞれ本を読む。
- ⑤その他(子どもだけで本を読む。)



この中で読書好きの子どもに育つには、①の読み聞かせがおすすめです。学校でも読み聞かせが始まると、子どもたちは目をキラキラさせて聞き始めます。読み聞かせの一番の効用は、本を読んでいる人との心の結びつきが生まれ、子ども自身が『大人が自分のために時間を割いて本を読んでもくれた』という満足感を得られるということだそうです。(引用 高濱正信・平沼純 著『子どもを本好きにする10の秘訣』より)

夏休みは、ぜひ子どもたちと読み聞かせの時間を持ち、「心のつながり」を感じてみてください。